



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月7日

上場会社名 グローリー株式会社 上場取引所 東
コード番号 6457 URL <https://www.glory.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三和 元純
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経理・財務本部長 (氏名) 藤川 幸博 TEL 079-297-3131
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	157,839	40.7	16,783	—	15,404	—	8,308	—
2023年3月期第2四半期	112,142	8.7	△4,711	—	△5,359	—	△6,195	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 21,430百万円 (113.0%) 2023年3月期第2四半期 10,062百万円 (162.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	149.42	—
2023年3月期第2四半期	△105.99	—

(参考) EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

2024年3月期第2四半期 26,609百万円 (494.3%) 2023年3月期第2四半期 4,477百万円 (△67.5%)

のれん償却前四半期純利益 (親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)

2024年3月期第2四半期 11,788百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 △2,878百万円 (—%)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	414,010	200,351	48.3	3,593.30
2023年3月期	381,273	195,984	50.7	3,474.76

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 199,834百万円 2023年3月期 193,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	34.00	—	34.00	68.00
2024年3月期	—	40.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日(2023年11月7日)公表いたしました「剰余金の配当(中間配当)の決定及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	350,000	36.8	43,000	—	41,000	—	24,500	—	440.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

（参考）EBITDA	2024年3月期	61,500百万円
のれん償却前当期純利益	2024年3月期	31,200百万円

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	58,938,210株	2023年3月期	58,938,210株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	2,873,306株	2023年3月期	2,873,306株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	55,606,005株	2023年3月期2Q	58,458,234株

（注）期末自己株式には、上記のほか、「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式があります（2024年3月期第2四半期 451,664株、2023年3月期 473,645株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州や中国において景気の持ち直しに遅れが見られたものの、米国においては堅調な設備投資や個人消費に支えられ、回復の動きが継続いたしました。

わが国経済におきましては、社会経済活動が正常化しつつあることや、インバウンド需要の持ち直しもあり景気は回復基調となりました。一方で、混迷を深めるウクライナ情勢に加え、円安の進行や物価上昇が継続しており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

こうした状況のなか、当社グループ事業の海外市場につきましては、金融市場及びリテール市場ともに、人件費高騰や人手不足対応に伴うセルフ化ニーズが継続しており、製品・サービスの需要は堅調でありました。加えて、半導体等の部品調達難の緩和による生産の回復に伴い出荷が進んだこともあり、主要製品の販売が増加いたしました。また、Acrelecグループの売上は好調に推移いたしました。Revolutionグループの売上は前年同期並みでした。

国内市場につきましても、全ての市場において、製品・サービスの需要は堅調に推移いたしました。金融市場及び流通・交通市場では、2024年7月に予定されている新紙幣発行に伴う製品の更新や改造作業が当初計画より前倒しで進んでおり、製品売上、保守売上ともに増加いたしました。また、遊技市場では、スマート遊技機向けカードシステムの販売が好調に推移いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、157,839百万円（前年同期比 40.7%増）となりました。このうち、製品及び商品売上高は、94,509百万円（前年同期比 49.2%増）、保守売上高は、63,330百万円（前年同期比 29.8%増）でありました。利益につきましては、営業利益は、16,783百万円（前年同期は 4,711百万円の損失）、経常利益は、15,404百万円（前年同期は 5,359百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、8,308百万円（前年同期は 6,195百万円の損失）となりました。

セグメント別にみますと、次のとおりであります。

(金融市場)

主要製品である「オープン出納システム」及び窓口用「紙幣硬貨入金機」や「紙幣両替機」の販売は、好調でありました。加えて、新紙幣発行に伴う改造作業により保守売上高も増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、30,056百万円（前年同期比 95.6%増）、営業利益は、8,341百万円（前年同期は 1,215百万円の損失）となりました。

(流通・交通市場)

主要製品である「レジつり銭機」及び警備輸送会社向け「売上入金機」の販売は、好調でありました。加えて、新紙幣発行に伴う改造作業により保守売上高も増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、31,437百万円（前年同期比 51.4%増）、営業利益は、3,594百万円（前年同期は 584百万円の損失）となりました。

(遊技市場)

主要製品である「カードシステム」の販売は、スマート遊技機向けのユニットが好調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、13,674百万円（前年同期比 161.5%増）、営業利益は、4,606百万円（前年同期比 4,132.2%増）となりました。

(海外市場)

米州では、主要製品である金融市場向け「紙幣入金機<RBG/GLRシリーズ>」及びリテール市場向け「紙幣硬貨入金機<CI/CI-Xシリーズ>」の販売は、好調でありました。売上高は、37,951百万円（前年同期比 28.7%増）となりました。

欧州では、主要製品である金融市場向け「紙幣入金機<RBG/GLRシリーズ>」の販売は、低調でしたが、流通市場向け「紙幣硬貨入金機<CI/CI-Xシリーズ>」の販売は、順調でありました。売上高は、34,622百万円（前年同期比 6.3%増）となりました。

アジアでは、リテール市場向け「紙幣硬貨入金機<CI/CI-Xシリーズ>」の販売は、好調でありましたが、地域全体としては、売上高は、7,413百万円（前年同期比 0.6%減）となりました。

また、Acrelecグループの売上高は、12,687百万円（前年同期比 28.9%増）であり、Revolutionグループの売上高は、8,782百万円（前年同期比 2.4%増）でありました。

なお、部材価格高騰の影響は緩和し業績は回復基調にありますが、海外市場においては輸送等のリードタイムを要するため、当第2四半期連結累計期間においては一部影響が残ることとなりました。

この結果、当セグメントの売上高は、79,987百万円（前年同期比 15.1%増）、営業利益は、535百万円（前年同期は 2,431百万円の損失）となりました。

その他の事業セグメントにつきましては、売上高は、2,682百万円（前年同期比 110.6%増）、営業損益は、295百万円の損失（前年同期は 589百万円の損失）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、国内外において製品・サービスの販売が順調に推移すると見込んでおり、国内市場においては、新紙幣発行に伴う改造作業の実施件数が想定より増加すると予想しております。

これらの状況を踏まえ、通期の連結業績予想を上方修正し、売上高3,500億円、営業利益430億円、経常利益410億円、親会社株主に帰属する当期純利益245億円といたしました。

なお、業績見通しの前提としております第3四半期以降の為替レートにつきましては、1米ドル135円（変更前130円）、1ユーロ145円（変更前135円）としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,753	27,995
受取手形、売掛金及び契約資産	59,787	75,555
電子記録債権	1,821	2,775
有価証券	833	957
商品及び製品	53,175	67,277
仕掛品	14,951	17,736
原材料及び貯蔵品	26,872	31,106
その他	10,719	8,744
貸倒引当金	△1,437	△1,662
流動資産合計	203,477	230,486
固定資産		
有形固定資産	42,517	44,019
無形固定資産		
顧客関係資産	26,428	27,933
のれん	55,528	58,176
その他	9,768	8,413
無形固定資産合計	91,725	94,524
投資その他の資産		
投資有価証券	14,553	14,060
その他	31,104	33,026
貸倒引当金	△2,106	△2,106
投資その他の資産合計	43,552	44,980
固定資産合計	177,795	183,523
資産合計	381,273	414,010
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,197	19,280
電子記録債務	7,276	9,706
短期借入金	45,623	58,461
1年内返済予定の長期借入金	1,481	3,110
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	428	5,810
賞与引当金	7,110	11,461
役員賞与引当金	54	80
株式付与引当金	48	210
その他	49,281	49,821
流動負債合計	139,501	167,942
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	12,055	11,218
株式付与引当金	194	253
退職給付に係る負債	2,166	2,207
その他	21,372	22,038
固定負債合計	45,787	45,717
負債合計	185,288	213,659

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,892	12,892
資本剰余金	12,286	—
利益剰余金	141,522	147,983
自己株式	△8,161	△8,104
株主資本合計	158,540	152,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,367	2,051
為替換算調整勘定	26,672	38,883
退職給付に係る調整累計額	6,584	6,127
その他の包括利益累計額合計	34,625	47,062
非支配株主持分	2,818	516
純資産合計	195,984	200,351
負債純資産合計	381,273	414,010

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	112,142	157,839
売上原価	73,078	88,713
売上総利益	39,063	69,126
販売費及び一般管理費	43,775	52,343
営業利益又は営業損失(△)	△4,711	16,783
営業外収益		
受取利息	73	104
受取配当金	113	119
為替差益	—	250
その他	268	251
営業外収益合計	455	726
営業外費用		
支払利息	480	849
持分法による投資損失	434	480
為替差損	23	—
システム障害対応費用	—	722
その他	165	53
営業外費用合計	1,102	2,105
経常利益又は経常損失(△)	△5,359	15,404
特別利益		
固定資産売却益	3	14
投資有価証券売却益	—	107
関係会社株式売却益	—	103
特別利益合計	3	225
特別損失		
固定資産売却損	13	—
固定資産除却損	5	6
投資有価証券売却損	—	3
投資有価証券評価損	30	0
減損損失	—	1,478
その他	0	—
特別損失合計	50	1,489
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,405	14,140
法人税等	492	5,534
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,898	8,605
非支配株主に帰属する四半期純利益	297	297
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,195	8,308

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,898	8,605
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	204	675
為替換算調整勘定	15,503	12,597
退職給付に係る調整額	225	△457
持分法適用会社に対する持分相当額	28	8
その他の包括利益合計	15,961	12,824
四半期包括利益	10,062	21,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,512	20,745
非支配株主に係る四半期包括利益	550	684

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年7月12日付で、連結子会社であるSittrade Italia S.p.A.の株式を追加取得いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が12,286百万円、利益剰余金が704百万円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融市場	流通・交通 市場	遊技市場	海外市場	計				
売上高									
外部顧客への売上高	15,362	20,764	5,228	69,511	110,868	1,274	112,142	—	112,142
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	15,362	20,764	5,228	69,511	110,868	1,274	112,142	—	112,142
セグメント損益	△1,215	△584	108	△2,431	△4,122	△589	△4,711	—	△4,711

(注)1. 「その他」の区分は、上記の報告セグメントに属さない製品及び商品であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	金融市場	流通・交通 市場	遊技市場	海外市場	計				
売上高									
外部顧客への売上高	30,056	31,437	13,674	79,987	155,157	2,682	157,839	—	157,839
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	30,056	31,437	13,674	79,987	155,157	2,682	157,839	—	157,839
セグメント損益	8,341	3,594	4,606	535	17,078	△295	16,783	—	16,783

(注)1. 「その他」の区分は、上記の報告セグメントに属さない製品及び商品であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。